

きっとあなたも図書館に行きたくなる！ 市ヶ谷図書館だより特別増刊号

ICHIGAYA TOSHOKAN VOL. DAYORI 7

力作ぞろいの
ぶっくまギャラリー

2026.4

個性豊かな
短編小説4作品

本の世界から飛び出して
コンテンツ&聖地巡礼

みんなの推しグッズ！

私の読書のおとも

もっと知りたい

電子ブックのコト！



Edited by
ICHIGAY Library Suppoters

ぶっくまギャラリー

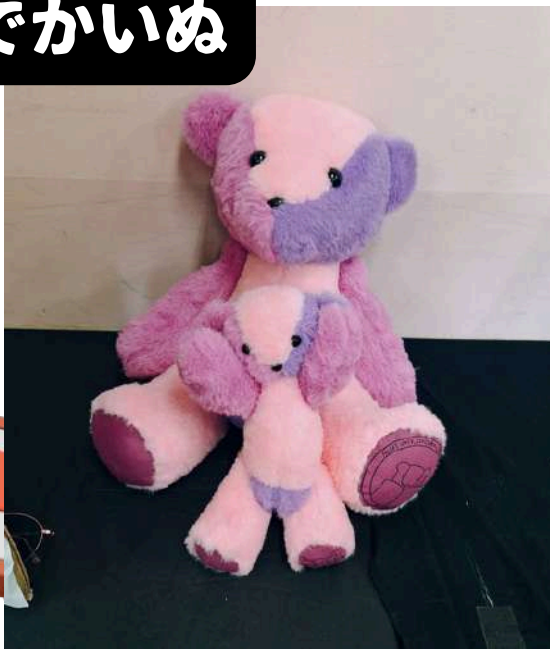
法政大学市ヶ谷図書館公式キャラクターの「ぶっくま」。
ライサポメンバーのぶっくま愛があふれる渾身の作品を
ご覧あれ！

櫻子



yona

でかいぬ

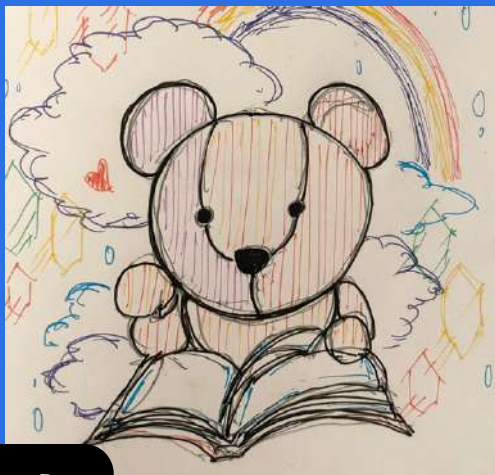




卒業生



柚子胡椒



ななお



かめ



短編小説

ライサポメンバーが紡ぐ

四つの物語

背中

母の背中の小ささを思った。普段は気にも留めないことが気になった。朝食の目玉焼きが焼ける匂いは鼻先を漂い、母の後姿は少し遠ざかっているかのようだった。いや、遠ざかりつつあるのは母ではなく僕の方だったのかもしれない。

キッチンに行き、朝食を作る母の後ろで支度を手伝った。

「秀、今日は起きるの遅いのね。いつも慌てて出て行くのに今日は随分ゆっくりじゃない」

目玉焼きが弾ける音をBGMに母は問いかける。

「え？ ああ……今日は部活の朝練……ないから」

僕の方と母の方、それぞれのご飯をよそいながら短く答えた。

「そうなの？ それなら久しぶりに一緒に食べられるね」

そう言いながら母は小気味よく新しい卵を二つフライパンに投入した。

小学生まで、朝食は必ず母と一緒に食べていた。ご飯が炊ける音と目玉焼きの匂いで目が覚める。母をテーブルで待ち、時にはせがんで母の足元にくっついた。いずれも母の背中が大きく見えた。中学に入ってから部活が始まり毎朝顔を合わせることが少なくなった。それは寂しくもあつたけれど、徐々に日常になった。そんな日常の僅かな隙間に母の背中の小ささが目に付いた。今はただ僕と母の背中を、優しく、かつ微かな実感を伴って撫でて行った時というものについて、思わずにはいられなかった。

洗い物をしている母に後ろから声を掛けた。

「先出るね」

「今日も私遅くなるから鍵持ってね。いってらっしゃい。気を付けてね」

僕の背中に言葉を掛ける。キッチンから顔を出し、微笑みながら見送る母の姿が、背中越しに視界の端に見えた。気恥ずかしくて正面から顔を見ることは出来なかった。

ただ一言、

「行ってきます」

とだけ届いたか分からない微かな声で答えた。

友の寄り添い

友人が音信不通になった。

三日前まで、毎日僕の元へ来て、日々の愚痴などを話していたのに。ぱったりと途切れてしまった。最後に話した会話はなんだったか。

こういうとき本当は、僕から連絡するべきなのかもしれない。でも、できない。だって僕は、いつも待っているだけだったから。彼から僕に話しかけてくれることを。彼が来てくれなければ、僕は何も、声をかけられないのだ。

こんな僕は、薄情だろうか。そんなことを考えつつ、彼と最後に交わしたトーク履歴を見直す。そういえば、転職したいと言っていたわけ。会話の最後は、「やめる決心がついた」という彼の決意と、それに対して「頑張って」と返す僕の言葉で終わっていた。となると、今は転職で忙しく、会いに来れないだけかもしれない。きつとそうだ。

ならば、心配はない。不安が減って無性に眠くなった僕は、ゆっくりと、深い眠りについた。

「本当に消しているの？」

「いいから」

「でも、スマホって色々残ってるんじゃない」

「早く消して！」

そう叫ぶとおばさんは、さめざめと泣いた。私の手には、一台のスマホ。先日ひとり暮らしの自宅で首を吊って亡くなった、私の従兄弟で、目の前のおばさんにとっては息子の、陸兄ちゃんのものだ。

「こんなものがあるから。こいつがいなければ」

そんなことを呟きながら、おばさんはスマホを覗む。機械オンチの彼女に代わってデータの消去を頼まれたけど、なんだか消しづらい。渡されたスマホの中身は、「ZIN」にインスタ、パズルゲーム、漫画アプリ、あとは流行りのSNSチャットアプリ……と、とくに変わったものは入っていないのに。

「まいつか。じゃあ消すね」

おばさんが頷く。それを確認して私は、データを削除した。

短編小説

長い長い、最初の二ページ

彼女は、こちらに視線のひとつも寄せさない。カウンター業務をするか、本に釘付けになっているか、その二択だ。図書委員のカウンター当番中、お互い口下手な彼女との間には静寂が横たわっているだけだった。今日もぼんやりと蝉の声を聞いて、当番が終わるのを待つ。小テストも近いのだから、単語帳くらい持つてくるべきであった。

本棚の前に立つのは、ずいぶん久しぶりだ。どうせ暇しているのなら、当番期間くらいは適当な本でも借りてみようと思いついたのだ。部活に入って以降図書室から足が遠のいていた身としては、手を伸ばすべき背表紙を見定めることが難しい。あちこち彷徨った末に、ふと目に止まった一冊を手にとった。見覚えのある著者名だったから、というだけの理由だ。読書に勤しむ彼女を横目で見たととき、よく視界に入る名前だった。

気が付いた時には、最後のページになっていた。通学中や帰宅後にも本を開いてしまつて、結局その本は三日で返却することになり、同時に同じ著者の同じシリーズの本を借りた。

「もしかして『探偵鮭野シリーズ』、読み終わったの?」

月日が流れ、最初に手に取った本のシリーズ本を全て読み終えた頃、初めて業務以外の話題を振られた。彼女は本を閉じてこちらを見つめていた。しばらく静止した後、慌てて口を開く。

「えっ、き、気付いてたの? シリーズを追って読んでたこと」

「うん。最後まで読んでから、あなただけの感想を聞いてみたかったんだ」

彼女は、悪戯が成功した子どものようにくすりと笑って見せる。見たことのない表情だった。初めて読む本の最初の一ページを開いた時のように胸が高鳴って、つられて微笑んだ。

もう冬ですけど

もう冬ですけど。寒くなってきたじゃないですか。本を読むのをやめましょう。読書の秋は終わりましたよ。もうそんな季節ではありません。文化的な行動は秋しかやっちゃだめなんですよ。

え? そんなことはない? そんなことなくないですよ。そういう取り決めになったじゃないですか。読書は秋しかやっちゃダメなんですって。

それはおかしいって? そんなこと言つたって僕たちの上位存在がそう言ってるんだからしょうがないじゃないですか。人間一人一人の行動がバラバラすぎて分かりにくいから画一的な行動だけさせましょうって。

冬なんだから冬眠をするんです。さあほら本を閉じて。暖かい部屋で寝っ転がるんです。え? そんなのつまらないって? 知らないですよそんなこと。

ほら早くふかふかの布団に入って……ってちよつとどこ行くんですか! え? 上位存在に会いに行く? はあ、まあ止めませんけど、どうせ門前払いですよ。

―数分後―

あれ? 戻ってくるの早かったですね。やっぱり門前払いでしたか? ……え? 別に読書してもよくなりました?

撤回されたって? 寝てばかりだと逆に健康に悪いっていう主張が通つたって? まあそれは確かにそうですね。そんな一言で撤回されるもんなんですね。簡単すぎやしませんか。

上位存在なんてそんなもん? まあそういうわれたらそうかもしれないですね。上位存在なんて上っ面だけのただの雑魚ですしね……そこまでは言っていない? そうでしたか。まあこれで自由になったことですし、自由な生活を楽しむとしましょうか。

こうして私たちは秋以外にも読書を許されたのであった。

文学作品に関する コンテンツ紹介

読書体験をより深く楽しむために
ライサポメンバーにオススメのコンテンツを紹介してもらいました！

JPOP：

米津玄師『海と山椒魚』

原作：『山椒魚』井伏鱒二



紹介コメント By あたりめ

米津玄師氏の2ndアルバムに収録されてる『海と山椒魚』という歌は、井伏鱒二の小説『山椒魚』がモチーフになっている。ギターの力強いメロディとともに、文学的な歌詞が織り成す「俺」の孤独と寂しさは、井伏の「岩屋から出られなくなった山椒魚」と見事に重なり共鳴している。この『海と山椒魚』で特筆すべき点は題名の通り「海」がもう一つのテーマであることだ。本来山椒魚は溪流などの岩の下に生息しており、海に現れることはない。しかし歌詞に登場する「のろまな山椒魚」である「俺」は、海の漁り火に似た炎に祈りを捧げる。一方で「青く澄んだ日照り」は『山椒魚』の谷川の岩屋に差し込む太陽の光りを連想させる。「山椒魚である俺」の想いは海と山の川とへ行き来する。それは「俺」が想い続ける「離れたあなた」との遠い距離を思わせる。「さよなら」の別れも言えなかった二人はまるで『山椒魚』の結末のようだ。昭和を代表する文豪の名作と稀代の天才歌手のメロディと歌詞との共演で、新たな山椒魚の姿が描き出されている。



AIサービス：

『Humanitext Aozora』



紹介コメント By かめ

「Humanitext Aozora（ヒューマニテキスト青空）」は、青空文庫に収録された日本の文学作品を活用した対話型AIシステムです。利用目的に応じて4つの対話モードが用意されており、作品についての質問応答から、時代背景やテーマの解説、作家の文体をまねた文章の生成、さらには作家や物語の登場人物になりきった対話まで、さまざまな楽しみ方ができます。たとえば萩原朔太郎を選び、「アイスクリーム好き？」と話しかけると、朔太郎風の語り口で答えてくれます。参照された作品名も示されるので、朔太郎がアイスのお話をしている箇所を実際に確認することもできます。作家が友人や師についてどのような印象を書き残しているのかを、ざっくり知りたいときにも便利です。朔太郎に「室生犀星について教えて」と尋ねたら、熱烈に語ってくれました。ぜひみなさんも有名な作家たちに気軽に話しかけてみませんか。

TVドラマ：『シリーズ 横溝正史短編集』

原作：横溝正史



紹介コメント By ねるね

横溝正史原作金田一耕助シリーズは数多く映像化されているが、その中でもTVドラマ『シリーズ横溝正史短編集』を紹介する。このシリーズで私が最も気に入っている話は「百日紅の下にて」である。本話は名作『獄門島』へと繋がる前日譚である。この話の魅力は、抽象的でシュールな演出にある。物語は二人の登場人物(義足の男佐伯と復員者ふうの男)の会話を軸として、そこに回想が挟み込まれる形式で展開される。二人の登場人物の会話は屋敷跡に残る鮮やかな花を咲かせる百日紅の樹の下で繰り広げられる。会話が進むにつれ謎めいた「復員者ふうの男」の頭上に百日紅の花が積もっていく演出が印象に残る。この男の正体が最後の会話で明かされる余韻ある構成も含め、文学作品をそのまま味わうような芸術的な体験ができる必見の一作である。ぜひ原作と比較しながら鑑賞してほしい。

ライサポメンバー調査 聖地巡礼9選! MAP

法大生お馴染みの外濠や飯田橋も、実はある作品の聖地だったり。村上春樹や太宰治、宮沢賢治など誰もが知る作家や文豪の聖地を調査したレポートを写真やMAPと共にお届け!

神宮球場 (東京・千駄ヶ谷)



【村上春樹・風の歌を聴け】

1978年4月、神宮球場で野球観戦中に小説を書こうと思い立った場所で帰りに千駄ヶ谷駅前の文房具店で原稿用紙を買い、作家としてのキャリアがここから始まる。

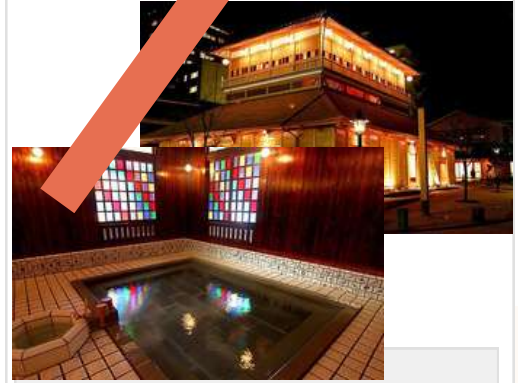
外濠沿いの土手 (東京・四谷～飯田橋)



【村上春樹・ノルウェイの森】

再開した主人公のワタナベと直子があてどなく歩き続けた、2人の距離感と、都会の中にある静かな孤独を象徴する散歩道。法大生には見覚えがありすぎる聖地。

山代温泉 (石川県加賀市)



【与謝野晶子・泉鏡花】

725年に高層行基が発見したと言われる温泉地。与謝野晶子や泉鏡花など多くの文化人に愛されてきた。与謝野晶子「山代のいで湯に遊ぶ楽しさはたとえて言えば古九谷の青」、泉鏡花「夢もおぼろな山代温泉」

村上春樹ライブラリー (東京・西早稲田)



【村上春樹・全作品】

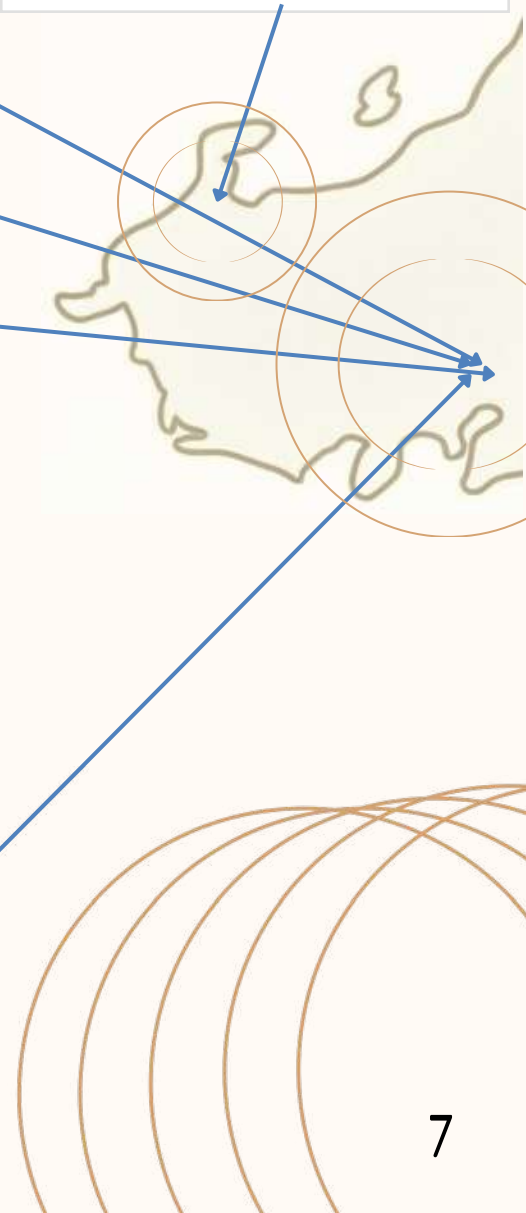
隈研吾氏が設計した村上文学の全てが集まる現代の総本山。館内には作品にちなんだカフェ、Orange Catもあり、物語の世界を体感できる聖地。

太宰治文学サロン (東京・三鷹)



【太宰治・十二月八日】

平成20年(2008)年の生誕100年を記念して、太宰が通い「十二月八日」に登場する、三鷹の伊勢元酒店の跡地に開設された。展示や「山内祥史文庫」の蔵書を片手に、太宰珈琲や太宰の郷里・青森のリンゴジュースなどをいただけたりする。10:00~17:00開館、入館無料、月、年末年始休館。



赤い屋根の喫茶店「駅舎」(青森県・津軽)



【太宰治・津軽】

津軽鉄道・芦野公園旧駅舎を活用した喫茶店。太宰治の小説「津軽」に登場する駅として知られており、平成26年12月19日に有形文化財に登録されました。10:00~17:00営業、休業日は水曜。

メガネ橋(岩手県・宮守町)



【宮沢賢治・メガネ橋】

宮守町にある「宮守川橋梁(めがね橋)」は、宮沢賢治の没後に完成した橋ですが、かつてこの地を走っていた岩手軽便鉄道は、岩手出身の童話作家・宮沢賢治が親しんだ路線として知られています。その沿線風景や乗車体験が「銀河鉄道の夜」の着想の一端になったとも伝えられています。

ルパン(東京・銀座)



【太宰治を筆頭に様々な文化人が通ったバー】

1928年(昭和3年)に里見弴・泉鏡花・菊池寛・久米正雄などからの支援を受け開店したバー。永井荷風・川端康成・太宰治・坂口安吾などの文豪、岡本太郎、小山内薫なども常連だった。坂口安吾が好んで飲んでいて有名なゴールデンフィズなどのメニューがある。17:00~23:30営業、日、月曜休業日。

はちまき(東京・神保町)



【江戸川乱歩・はちまき】

はちまき創業者の青木さんは東京作家クラブの後援者。昭和20年代には「二七会」と呼ばれる会合がお店の2階で開かれていた。「二七会」とは毎月27日に文士たちが集まった宴会でこの会の中心人物は江戸川乱歩であった。



私の読書のおとも

ライブラリーサポーターおすすめの読書のおともを紹介します！

皆さんもぜひ取り入れてみてはいかがでしょうか？



1. 紅茶

いつも飲んでいる普通の紅茶ですが、気分が落ち着くので本格的に本を読むぞ！という時は用意することがあります。

2. 読書記録アプリ(読書管理ビブリア)

読んだ本や読みたい本を簡単に登録することが出来るので、重宝しています。本ごとにメモが出来たり、月ごとの読書した本の冊数を統計で見ることが出来ます。読んだ本を裏表紙にあるISBNのバーコードから読めるのがとてもありがたいです！

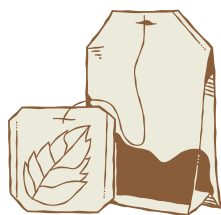
詳しくはqrコードをcheck↓



3. 抜き書きノート

読んだ本の中から、自分にとって大切な言葉をノートに抜き書きしています。悩んだときや落ち込んだとき、そのノートを読み返して救われることがあります。

4. ハーブティー



ノンカフェインで、寝る前でも気にせず飲めて、リラックス効果もあるのが好きです。おすすめのフレーバーはバタフライピーやカモミールなどです。



5. クラシック音楽

クラシック音楽を聴くと、余計なノイズが排除されて、読書の世界に引き込まれます。個人的に、スメタナの『我が祖国』がおすすめです。優しい雰囲気とダイナミックさが混在していて、ページがどんどん進みます！



6. 手作りのしおり

私は手作りのしおりが読書に欠かせないアイテムです。作り方としては、気に入った紙袋やブックカバーを切り取って、厚紙に張り、パンチで穴をあけ、その穴にリボンを通したら、完成！！！！

7. チョコレート

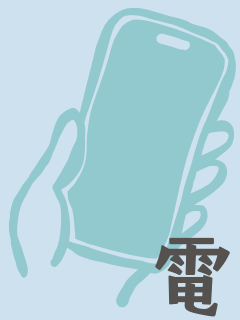


長い時間本と向き合っていると少し疲れてしまうのですが、そういう時はチョコをひと口つまむようにしています。お気に入りはいんどールのまんまるチョコ。

8. コーヒー



最近、ブラックコーヒーが飲めるようになりました。苦味が頭をすっきりとさせてくれ、より真剣に本と向き合える気がします。気分に合わせて、カフェオレなどにもしてみるのもおすすめです。



新しい選択肢の1つに！



電子ブックを使ってみよう！

レポートを書くとき、就活や資格の勉強をしたいとき、図書館で紙の本だけを探していませんか？ 図書館には電子資料も多数所蔵されており、誰でも利用することができるのです！

これを機に、あなたも電子ブック利用者になりませんか？

－ 電子ブックの使い方 － キャンパス外から利用する場合

①VPN接続をして、法政大学図書館HPにアクセス

(↓VPN接続の方法については法政大学市ヶ谷情報センターのお知らせを参照ください)

<https://hic.ws.hosei.ac.jp/network/vpn>

(法政大学図書館HP：<https://www.hosei.ac.jp/library/>)

②法政大学図書館HP「MYOPACへログイン」を選択する

③ログイン後、画面上部の「データベース」から「電子ブックを読む」を選択する

④使いたいデータベースにアクセスする

※キャンパス内ではhosei-wifiなどの学内無線LANに接続していれば利用できます

－ おすすめのデータベース（電子ブックサイト） －

KinoDen

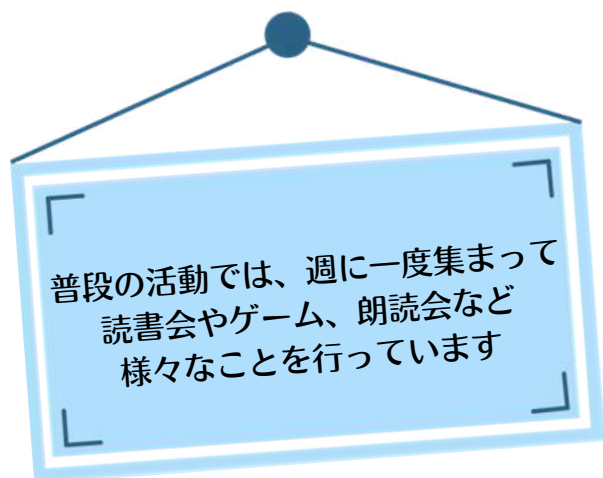
紀伊國屋書店が提供する学術和書電子図書館サービス。約5,100点を法大生は無料で利用することが出来る。SPI対策や公務員試験対策などの就職活動に関する本から、TOEIC対策をはじめ語学の勉強、「るるぶ」など旅行ガイドまで揃っている。アプリで利用することで、マイ本棚や付箋、マーカーなどの機能を使用できる。

Maruzen eBook Library

丸善雄松堂が提供する国内最大級の電子書籍のプラットフォーム。検索のトップページの右側に「人文科学」や「社会科学」などジャンルごとのタグがついているので分野を絞り込むこともできる。『地球の歩き方』シリーズがよく読まれている。



2025年度 市ヶ谷図書館 ライサポ活動記録



4月

市ヶ谷図書館だより(特別増刊号)発行

ライサポが企画・編集した市ヶ谷図書館だよりの特別版です。内容は毎年異なりますが、短編小説や本にまつわるあれこれ、ライサポの活動を紹介しています。

新入生歓迎会

新歓のブース以外にも、別日に活動の見学もおこなっています！

6月

選書ツアー

紀伊國屋書店新宿本店にて、大学の図書館に新しく加える本を選ぶ魅力的な企画です！他キャンパスのライサポの人と話すことの出来るチャンスでもあります。

9月

市ヶ谷図書館開架展示

今年度は「ライブラリーサポーター・図書館員の市（いち）おし」と題して、おすすめの本の選書と図書館のPRを展示します。





10月

教科書リユース

寄付していただいた、秋学期に使用する学部・ILAC・資格科目などのテキストを必要としている人にお渡しします。

図書館職員業務体験

カウンター業務や資料の修理、資料管理など、普段は見ることのできない仕事や方法を実際に体験することができます。

11月

自主法政祭

朗読劇と小説イントロドン、本みくじを行いました。夏季休業期間から準備をしてきたものの集大成です！

12月

「本の福袋」作成

自分の決めたテーマに沿って本を何冊か選び、中身が見えないようにラッピングして図書館にて貸し出します。

市ヶ谷図書館だより(特別増刊号)制作開始

12月ごろから分担して制作しています。

1月


学生選書の展示・POP作成

主に選書ツアーに参加した人を中心に、選書した本を紹介するPOPを作ります。その後市ヶ谷図書館で展示されます。好きな本をアピールできます！

2月

国立国会図書館見学ツアー

本好きにはたまらない！日本で出版した印刷物の全てが保管されている「国会図書館」の見学にいけます。



図書館に来てね!

法政大学市ケ谷図書館ライブラリーサポーター(略称:ライサポ)は、学生の視点から多くの学生がよりよく、図書館を利用できるよう活動する学生ボランティアです。

◆ ◆ ◆
現在、新たなメンバーを募集しています!

詳しくはQRコードから↓ ↓

募集対象:市ケ谷キャンパスの学部生、大学院生、通信教育部生

お問い合わせ:市ケ谷図書館B1Fレファレンスカウンター TEL:03-3264-9515

www.hosei.ac.jp/library/shokai/gaiyo/library_supporter

新歓祭での説明ブース

4/1 外濠校舎3階 S301

4/2 富士見ゲート5階 G501

4/3 外濠校舎5階 短期会議室

4/4 外濠校舎4階 S405



編集:柚子胡椒